

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
 (令和8年5月解析分)

1 今月のトピックス

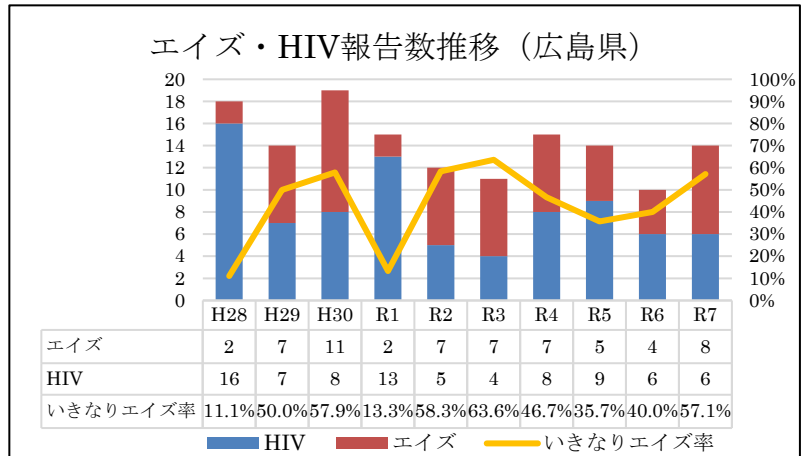
(1) 6月1日(月)から6月7日(日)は「HIV検査普及週間」です

広島県 HIV・エイズ [検索](#)

県内の令和7年の新規エイズ患者数は8人(前年比+4)、新規HIV感染者数は6人(前年比±0)でした。依然として、いきなりエイズ率が高い状況が続いており、HIVやエイズに関する正しい知識と適切な検査の実施が重要です。また、検査件数については新型コロナウイルス感染症の流行前の水準に回復しています。

HIVに感染しても自覚症状のない時期が数年間続くことが知られています。その間に感染を発見し治療することで、エイズ発症を予防したり、遅らせたりすることが可能です。

保健所検査や日曜検査、クリニック検査など、利便性の高い場所や時間帯に配慮した検査を実施しており、広島県のホームページから日程等を確認できます。検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検してください。(※保健所検査については、梅毒検査も併せて実施しています。)



予防のポイント

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、感染力が弱く性行為以外では日常の生活の中で感染する心配はありません。

正しい知識を持って、しっかりと対策をしましょう!

- 1) 性行為(精液・膣分泌液): 感染者との無防備な性行為は感染の可能性が高い
 - ・性交・オーラルセックス(口腔性交)の際は、必ずコンドームを使う
 - ・性器具の共用をしない
- 2) 血液を介して: 血液にふれることや、血液が体内に入ると感染の可能性が高まる
 - ・注射器具の共用をしない
- 3) 母親から赤ちゃんへ(母子感染): 妊娠中・出産時・授乳などによって子どもに感染することがある
 - ・予防措置〔服薬、帝王切開、人工栄養(粉ミルク)での養育〕を行う

(2) 令和8年度からRSウイルス母子免疫ワクチン定期接種が実施されています

令和8年4月から、RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まりました。ワクチンを妊婦に接種することで、RSウイルスに対する抗体が母体で作られ、抗体が胎盤を介して胎児に移行し、新生児や乳児における、RSウイルスを原因とする下気道疾患を防ぐことができます。接種対象者は、妊娠第28週0日から妊娠36週6日までの方(接種する日の妊娠週数を基準とします)で、接種回数は1回、接種費用は無料です。

詳細は、お住いの市町へお問い合わせください。



広島県感染症・疾病管理センター
 ホームページ
 RSウイルス母子免疫ワクチンについて

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年4月分(令和8年4月6日～令和8年5月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	17,292	46.61	-	→	11	突発性発しん	42	0.19	0.26	↗
2	インフルエンザ ※3	323	0.87	1.38	↓	12	ヘルパンギーナ	45	0.20	0.08	↑
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	249	0.67	-	↗	13	流行性耳下腺炎	4	0.02	0.03	↓
4	RSウイルス感染症	107	0.48	0.86	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	88	0.39	0.39	↗	15	流行性角結膜炎	32	0.42	0.56	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	616	2.75	1.29	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	995	4.44	5.87	↘	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
8	水痘	60	0.27	0.08	↗	18	マイコプラズマ肺炎	16	0.20	0.07	↘
9	手足口病	49	0.22	0.20	↑	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	14	0.06	0.09	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.10	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか一つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	90	4.09	3.15	→	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	3.70	3.24	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	20	0.91	0.86	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.09	
23	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.89	→	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
24	淋菌感染症	31	1.41	1.25	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	手足口病	(0.03 → 0.22)
	ヘルパンギーナ	(0.03 → 0.20)
○急減疾患	インフルエンザ	(9.02 → 0.87)
	流行性耳下腺炎	(0.04 → 0.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内153の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	36	56	19	22	20	153

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	40	結核(40)〔西部東保健所(5)、東部保健所(7)、北部保健所(1)、広島市保健所(12)、呉市保健所(3)、福山市保健所(12)〕
三類	14	腸管出血性大腸菌感染症(14)〔西部保健所(3)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(5)、福山市保健所(4)〕
四類	10	E型肝炎(3)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(5)〔東部保健所(2)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(2)〔呉市保健所(2)〕
五類	45	ウイルス性肝炎(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔福山市保健所(1)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔呉市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)〔西部保健所(1)、広島市保健所(2)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕 水痘(入院例)(1)〔東部保健所(1)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(16)〔西部保健所(1)、広島市保健所(10)、呉市保健所(2)、福山市保健所(3)〕 百日咳(14)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(9)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2026年5月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	41	31	40									137
	小 計	25	41	31	40	0	0	0	0	0	0	0	0	137
三類	コレラ	0	0	0	0									0
	細菌性赤痢	0	0	0	0									0
	腸管出血性大腸菌感染症	17	6	5	14									42
	腸チフス	0	0	0	0									0
	パラチフス	0	0	0	0									0
	小 計	17	6	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	42
四類	E型肝炎	1	0	1	3									5
	A型肝炎	1	0	0	0									1
	エムボックス	0	0	0	0									0
	つつが虫病	0	0	0	0									0
	デング熱	0	0	0	0									0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0									0
	日本紅斑熱	0	0	0	2									2
	日本脳炎	0	0	0	0									0
	マラリア	0	0	0	0									0
	レジオネラ症	6	1	5	5									17
	レプトスピラ症	0	0	0	0									0
小 計	8	1	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
五類全数	アメーバ赤痢	1	2	1	0									4
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	2									3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	7	3	1									11
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0									0
	急性脳炎	0	2	2	1									5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1									1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	2	3									10
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	1									2
	ジアルジア症	0	0	0	0									0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0									0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0									0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	7	3									17
	水痘(入院例)	0	0	0	1									1
	破傷風	2	1	0	0									3
	梅毒	10	12	18	16									56
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1									1
	百日咳	23	19	9	14									65
	風しん	0	0	0	0									0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1									1
	麻しん	1	0	0	0									1
小 計	44	49	43	45	0	0	0	0	0	0	0	0	181	
合 計	94	97	85	109	0	0	0	0	0	0	0	0	385	

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

- 一類 : エボラ出血熱, クリミア・コンゴ出血熱, 痘そう, 南米出血熱, ペスト, マールブルグ病, ラッサ熱
- 二類 : 急性灰白髄炎(ポリオ), 結核, ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群, 中東呼吸器症候群, 鳥インフルエンザ(H5N1), 鳥インフルエンザ(H7N9)
- 三類 : コレラ, 細菌性赤痢, 腸管出血性大腸菌感染症, 腸チフス, パラチフス
- 四類 : E型肝炎, ウエストナイル熱, A型肝炎, エキノコックス症, 黄熱, オウム病, オムスク出血熱, 回帰熱, キヤサスル森林病, Q熱, 狂犬病, コクシジオイデス症, エムボックス(サル痘), ジカウイルス感染症, 重症熱性血小板減少症候群, 腎症候性出血熱, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 炭疽, チクングニア熱, つつが虫病, デング熱, 東部ウマ脳炎, 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く), ニパウイルス感染症, 日本紅斑熱, 日本脳炎, ハンタウイルス肺症候群, Bウイルス病, 鼻疽, プルセラ症, ベネズエラウマ脳炎, ヘンドラウイルス感染症, 発しんチフス, ボツリヌス症, マラリア, 野兔病, ライム病, リッサウイルス感染症, リフトバレー熱, 類鼻疽, レジオネラ症, レプトスピラ症, ロッキー山紅斑熱
- 五類全数: アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症, 急性脳炎, クリプトスポリジウム症, クロイツフェルト・ヤコブ病, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 後天性免疫不全症候群, ジアルジア症, 侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症, 侵襲性肺炎球菌感染症, 水痘(入院例に限る), 先天性風しん症候群, 多剤耐性緑膿菌感染症, 梅毒, 播種性クリプトコックス症, 破傷風, バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症, バンコマイシン耐性腸球菌感染症, 風しん, 麻しん, 薬剤耐性アシネトバクター感染症, 百日咳, 急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和8年4月1日～5月19日

資料作成：令和8年5月19日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
143	173	86	59	28

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
E型肝炎	E型肝炎ウイルス	1	1*	血清	R8. 4月	40代	西部東
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチア	2	2	血液	R8. 4月	70代, 80代	呉市
つづが虫病疑い	日本紅斑熱リケッチア	1	1	血液	R8. 5月	70代	福山市
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	7	11	血液, 痂皮, 皮膚組織	R8. 4月～5月	70代～80代	東部, 東部(福山), 呉市, 福山市
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)疑い	SFTSウイルス	1	1	血液	R8. 5月	80代	東部

※ 3月中旬発症患者の検体。感染経路不明

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(小児)疑い	ヒトヘルペスウイルス6型	1	2	血液, 咽頭	R8. 4月	4	東部
麻疹(成人)疑い	ライノウイルス	1	1	咽頭	R8. 4月	22	西部東
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	3	3	鼻咽頭, 咽頭	R8. 4月	22～66	西部(広島), 東部
インフルエンザ	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス	7	7	鼻咽頭, 咽頭	R8. 4月	4～17	西部東, 東部
RSウイルス感染症	RSウイルス A型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 4月	1	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	2	2	鼻咽頭, 咽頭	R8. 4月, 5月	1	西部東
	アデノウイルスNT+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 4月	0	西部東

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間：令和8年4月1日～5月19日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
西部(広島)	28	E型肝炎(1), ダニ類媒介感染症疑い(1), 急性呼吸器感染症(ARI)(26)
西部(呉)	0	
西部東	37	E型肝炎(1), ダニ類媒介感染症疑い(3), 麻しん(小児)疑い(3), 風しん(成人)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(26), 感染性胃腸炎(1)
東部	55	ダニ類媒介感染症疑い(12), 麻しん(成人)疑い(3), 急性脳炎・脳症(5), 急性呼吸器感染症(ARI)(33), 新型コロナウイルス感染症(2)
東部(福山)	21	ダニ類媒介感染症疑い(4), 急性呼吸器感染症(ARI)(17)
北部	0	
福山市	13	ダニ類媒介感染症疑い(12), その他(肺炎)(1)
呉市	18	ダニ類媒介感染症疑い(9), 麻しん(小児)疑い(3), 麻しん(成人)疑い(6)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和8年3月下旬～令和8年5月上旬）

	報告週	第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	第19週	計
		3/23～3/29	3/30～4/5	4/6～4/12	4/13～4/19	4/20～4/26	4/27～5/3	5/4～5/10	
検査患者数		21	16	19	23	14	15	5	113
陽性患者数		17	12	15	19	13	11	2	89
AH1pdm09型インフルエンザウイルス			1						1
AH3型インフルエンザウイルス									0
B型インフルエンザウイルス(ヒ ⁺ 外 ⁷ 系統)		4	3	4	2				13
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		1		1	3	1			6
RSウイルス A型		3		1	2				6
RSウイルス B型		1	1						2
パラインフルエンザウイルス1型					1				1
パラインフルエンザウイルス2型					1				1
パラインフルエンザウイルス3型									0
パラインフルエンザウイルス4型									0
ライノウイルス/エンテロウイルス									0
ライノウイルス		5	3	7	9	6	9	1	40
エンテロウイルスNT			1						1
メタニューモウイルス			3	1	2	3	2		11
アデノウイルスNT		1	3	2	2	1		1	10
アデノウイルス2型							1		1
ヒトコロナウイルスHKU1									0
ヒトコロナウイルスNL63		2		2	1	1			6
ヒトコロナウイルス229E		2		1	2				5
ヒトコロナウイルスOC43						2			2
マイコプラズマ・ニューモニエ				1	1				2

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。

病原体（細菌）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

資料作成：令和8年5月1日

対象期間：令和8年1月1日～令和8年4月30日に依頼されたもの

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 保健所別検査依頼受付状況

保健所地区	菌株数	疾患名（菌株数）
西部	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)
西部(広島)	3	腸管出血性大腸菌感染症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(2)
西部(呉)	0	
西部東	2	腸管出血性大腸菌感染症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(1)
東部	4	腸管出血性大腸菌感染症(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(2)
東部(福山)	2	腸管出血性大腸菌感染症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(1)
北部	0	
福山市	3	劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)
呉市	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(3)
合計	19	

2 三類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断年月日	依頼年月日	患者の年齢	発生地区	菌種	性状
腸管出血性大腸菌感染症	R8. 1. 19	R8. 1. 26	21	東部福山	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1・2、MLVA型：26m0001 …①
	R8. 1. 15	R8. 2. 3	23	西部東	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1・2、MLVA型：26m0001 …②
	R8. 1. 14	R8. 2. 16	20	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1・2、MLVA型：26m0001 …③
	R8. 2. 12	R8. 3. 4	37	東部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：OUT:HUT、ペロ毒素型：VT1
	R8. 4. 4	R8. 4. 14	56	東部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT2、MLVA型：26m0034
	R8. 4. 17	R8. 4. 20	42	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0103:H2、ペロ毒素型：VT1
	R8. 4. 15	R8. 4. 21	76	西部広島	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0103:H2、ペロ毒素型：VT1

【コメント】

UT:型別不能

①と②については、山口県で発生した集団感染事例の患者株であり、MLVA型も一致した。③については、山口県の集団感染事例との関連性は確認できなかったが、MLVA型は一致した。

3 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断年月日	依頼年月日	患者の年齢	発生地区	菌種	性状
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	R8. 1. 5	R8. 1. 15	71	福山市	<i>Streptococcus dysgalactiae</i>	Lancefield群別：G群、emm型：stG652
	R8. 1. 13	R8. 1. 15	76	福山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：UT、emm型：emm108.1、発赤毒素遺伝子：speB、speF
	R8. 3. 3	R8. 3. 10	77	福山市	<i>Streptococcus dysgalactiae</i>	Lancefield群別：G群、emm型：stG840
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	R8. 2. 2	R8. 2. 6	76	呉市	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：KPC型、β-ラクタマーゼ遺伝子型：EBC型
	R8. 2. 9	R8. 2. 16	94	呉市	<i>Klebsiella oxytoca</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R8. 1. 30	R8. 2. 27	55	東部	<i>Serratia marcescens</i>	カルバペネマーゼ産生性：陽性、β-ラクタマーゼ産生性：メタロ-β-ラクタマーゼ、β-ラクタマーゼ遺伝子型：IMP-1
	R8. 2. 18	R8. 2. 25	84	呉市	<i>Escherichia coli</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：ESBL、β-ラクタマーゼ遺伝子型：TEM型、CTX-M-1 group
	R8. 2. 20	R8. 2. 27	88	西部東	<i>Klebsiella oxytoca</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R8. 3. 2	R8. 3. 3	94	西部広島	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陽性、β-ラクタマーゼ産生性：メタロ-β-ラクタマーゼ、β-ラクタマーゼ遺伝子型：IMP-1、CTX-M-2 group
	R8. 3. 10	R8. 3. 16	83	西部広島	<i>Escherichia coli</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R8. 3. 9	R8. 3. 16	32	東部	<i>Enterobacter cloacae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ遺伝子型：EBC型
	R8. 4. 13	R8. 4. 22	69	東部福山	<i>Escherichia coli</i>	カルバペネマーゼ産生性：陽性、β-ラクタマーゼ産生性：メタロ-β-ラクタマーゼ、β-ラクタマーゼ遺伝子型：NDM-1、CTX-M-1 group